

「見沼田圃の保全・活用・創造の方策」について

- 埼玉県・さいたま市企画調整協議会を受けて平成 27 年度に見沼田圃の保全・活用・創造のための連携会議（以下「連携会議」という。）を設置しました。
- 見沼田圃の保全・活用・創造のため、現状を踏まえた対策等を連携会議でとりまとめ、令和 5 年度に取り組んだ実績です。

対策 (対策が求められる現状)	取組事項	令和 5 年度の実績 ○：県の取組、■：市の取組
<p>1 農地の活用及び担い手の確保</p> <p>○遊休農地の増加 ○農地の減少 ○農業者の高齢化 ○担い手の不足</p>	<p>人・農地プランの実質化の促進</p>	<p>○人・農地プランの更新及び実質化、地域計画の策定に向けた支援を行った。地域の現状や課題を把握し、中心経営体への集約化が促進された。</p> <p style="text-align: right;"><県農業ビジネス支援課></p> <p>■さいたま市内全域を 3 地域(西部、中部、東部)に分け、それぞれ同プランを作成(見沼田圃は中部に属する)。 地域計画素案の作成を行った地区 2 地区 計画策定に向けて取組を行った地区 4 地区</p> <p style="text-align: right;"><さいたま市農業政策課></p>
	<p>担い手農家への農地の集積</p>	<p>○農地中間管理機構による農家から農地の借上げ 【実績面積】22 筆 約 29,826 m² ※見沼区域のみ</p> <p style="text-align: right;"><県農業ビジネス支援課></p> <p>■農地の耕作者、所有者に対する 5 年後の耕作意向の確認、耕作を行わない予定の耕作者、所有者への農地中間管理機構の活用促進 農地中間管理事業活用実績 225,188 m²</p> <p style="text-align: right;"><さいたま市農業政策課></p> <p>○公有地の農家への貸付け 【貸付面積】41 か所 64,138 m²</p> <p style="text-align: right;"><県土地水政策課></p>
	<p>企業等の農業参入の促進</p>	<p>■企業等の農業参入の支援 【参入実績】3 法人 ※さいたま市内全域</p> <p style="text-align: right;"><さいたま市農業政策課></p>
	<p>就農予備校の実施</p>	<p>○農林公社の就農予備校の実施 見沼田圃就農予備校の開設 受講者 入門コース 21 名、初級コース 20 名、中級 11 名</p> <p style="text-align: right;"><県農業ビジネス支援課></p> <p>■就農に向けた農業研修の実施 明日の農業担い手育成入門研修(旧:就農準備研修)実施 令和 5 年度 対象者 8 名</p> <p style="text-align: right;"><さいたま市農業政策課></p>
	<p>多面的機能支援事業の推進</p>	<p>■4 団体(大谷環境保全会、中川環境保全会、見山環境保全会、南部領辻環境保全会)の活動支援 【対象活動面積】82.35ha</p> <p style="text-align: right;"><さいたま市農業環境整備課></p>
	<p>農地の保全・活用に資する新たな支援策の検討</p>	<p>○未利用公有地を活用した新たな担い手の農業参入支援を実施</p> <p style="text-align: right;"><県土地水政策課></p> <p>■遊休農地・耕作放棄地などを解消し、土地利用を推進する方策として、公有地を活用した炭素管理型農業の実証実験を行う見沼田圃グリーンカーボン推進事業の実施を連携会議で報告</p> <p style="text-align: right;"><さいたま市見沼田圃政策推進課></p>

対策 (対策が求められる現状)	取組事項	令和5年度の取組実績 ○：県の取組、■：市の取組
2 農業経営の支援 ○農業所得の減少 ○排水不良農地での栽培農作物の制限	新規作物の実証栽培 (さいたま農林振興センターの協力のもと、地元農家の実証栽培を実施)	○実証ほの設置・実施状況(は種・定植) にんにく 試作農家2名 しゅんぎく 試作農家1名 ブロッコリー 試作農家4名 カリフラワー 試作農家1名 <県農業ビジネス支援課>
	見沼ブランドの確立	■さといもを含む農産物の加工品開発、ブランド化の推進 地場産加工品 5件 <さいたま市農業政策課>
	地産地消の推進	■食料品スーパーなどにおける地場産農産物コーナーの新設 設置 2店舗 <さいたま市農業政策課>
	市民農園や体験農園の設置拡大	■・企業やNPO法人が開設する市民農園開設支援 2件 市民農園数 令和5年度末 84農園(3,075区画) ・児童農業体験実施校 8校 ・農業交流施設の整備方針策定 ・機運醸成のための農産物直売会(大崎公園) 5回 <さいたま市農業政策課>
	排水不良農地の調査、調査結果を踏まえた対応	○橋梁架換2橋(継続)、調節池(継続)、樋管工(完了:3、継続:1) <県河川砂防課> ■農業用水路の維持補修 ・補修工事 : 10箇所 ・草刈、清掃 : 34箇所 <さいたま市農業環境整備課>
3 見沼田圃にふれあう環境の創出 ○斜面林の減少 ○見沼田圃を取り巻く自然環境の保全 ○都市住民の自然や農業への関心の高まり	斜面林の公有地化	■斜面林公有地化 【実績】 約118㎡ <川口市みどり課>
	保全活動への支援	■特別緑地保全地区やさいたま市条例で規定する指定緑地において、緑地ボランティア団体に対する活動支援、所有者の維持管理に係る助成支援 <さいたま市みどり推進課> ■自然再生活動団体による、市内に残る良好な自然環境の積極的な維持保全活動及び損なわれた地域固有の自然環境の再生・創出活動への助成 助成団体数：1団体 <川口市みどり課>
	農業・自然体験の提供	○公有地管理委託を通じた市民団体等の体験イベント実施 実施団体10団体、イベント58回、参加者1,260人 <県土地水政策課> ■活動支援 ・みぬま秋フェス in さぎ山開催 ・シーズン企画 18回、参加者456人 <さいたま市見沼田圃政策推進課> ■自然体験や工作を用いた自然ふれあい教室 イベント2回、参加者56人 <川口市みどり課>
	見沼・さぎ山交流ひろばを活用した交流の拡大	■・みぬま秋フェス in さぎ山開催 ・「区制施行20周年 みんなの見沼たんぼ！デジタルフォトコンテスト2023」を開催 ・見沼田圃基本計画アクションプラン市民プロジェクト3事業について、施策を実施 1. グリーンインフラ推進プロジェクト：見沼田圃グリーンカーボン推進事業 2. 見沼たんぼ桜回廊活用プロジェクト：秋フェスブース出店 3. 見沼田圃生物多様性プロジェクト：生物調査の実施 <さいたま市見沼田圃政策推進課>